

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 26 日

評価対象事業		評価者	介護保険課 吉田 水香	
健福-27	高齢者施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	介護保険課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。
効果	施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

- ・介護付有料老人ホームの選定を行った。
- ・介護老人福祉施設の整備に係る補助金を交付した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	高齢者入所施設等整備法人選定委員会実施事業	法人選定	-	/	84 / 156	156	
02	特別養護老人ホーム整備事業	整備費補助	-	/	17,000 / 17,000	0	
03	グループホーム等整備事業	開設準備経費等補助	グループホーム定員数	252 /	252 / 8910	288 / 167,405	
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/	8,910	167,405	
			地方債	13,600 /	13,600		
			その他特定財源	/			
			一般財源	3,484 /	3,556	156	
			<b>事業費の合計(千円)</b>		17,084 / 26,066	167,561	
			<b>人件費(千円)</b>		3,794	3,843	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.7	0.5	0.5			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	高齢者入所施設等整備法人選定委員会実施事業	公募に応じる法人等がある場合に委員会を実施する事業であり、目標設定になじまない。	公募に応募してきた法人等のうち、適切に運営できる法人等を選定した。	—
02	特別養護老人ホーム整備事業	第8期の高齢者保健福祉計画において、特別養護老人ホームは整備しないこととしているため、目標は設定しない。	入所待機者を減らすことができた。	高齢者人口の変動を見据えて、第9期以降の高齢者保険福祉計画においてどのような整備計画を立てていくか、検討を重ねる必要がある。
03	グループホーム等整備事業	令和2年度と令和3年度の目標値は同数であり、既に開設されたグループホームの定員数により目標達成となった。令和4年度は新規のグループホーム開設を見込み指標数を上昇させている。	入所待機者を減らすことができる。	神奈川県補助金を受けるためには、開設時期等の条件があることから、特定財源確保のためにも、開設時期を精査した上で公募をするなど、スケジュール管理を慎重に行う必要がある。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か		△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働実施済の場合のパートナー			

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
第8期鎌倉市高齢者保健福祉計画(令和3年度～5年度)に基づき、計画的に施設を整備していく。					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	認知症高齢者グループホーム定員数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
計画的整備の達成状況の把握	目標値		252.0	288.0	288.0			
	実績値	252.0	252.0					
	達成率		100.0%					

指標(単位)	小規模多機能型居宅介護事業所数						単位	事業所数
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
計画的整備の達成状況の把握	目標値		7.0	8.0	8.0			
	実績値	7.0	7.0					
	達成率		100.0%					

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項								
団体名	鎌倉市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市			
他市実績	53,689人	125,922人	10,277人	18,551人	16,321人			
	30.33%	32.28%	31.3%	31.26%	39.4%			

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	高齢者人口や高齢化率の推移を見ながら、施設整備数について検討していく。
--------------------------	-------------------------------------